



正倉院ガラス器複製品「紺瑠璃杯」

## CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告
- 3… 入館者数/資料館入館者数の推移/アウトリーチ展入場者数
- 4… 開催案内/移管資料

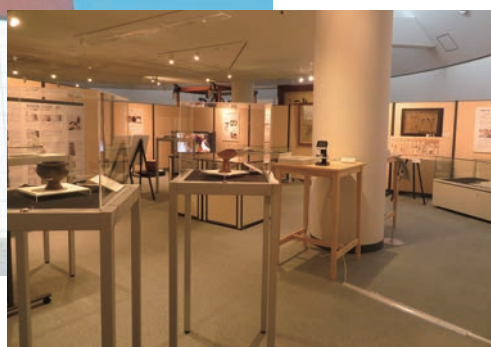
## TOPICS

### 2代目資料館懸垂幕を新調 春季企画展開幕に合わせてお披露目しました

現在、資料館展示室の外壁に掛かっている資料館の懸垂幕を御存じでしょうか。皆さんの中には資料館があることを知らない、どこにあるかもわからないという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。資料館ではこれまでも各種イベントに合わせて懸垂幕を作成してきましたが、学内外の人たちに「金沢大学資料館はここにあるよ。」ということをアピールするため、3年前に資料館の初代懸垂幕を作成しました。その初代もその役目を終え、今年の3月末から2代目の懸垂幕に役割を譲りました。

金沢大学資料館は、「資料館」という名称ですが、博物館法で定められた「博物館相当施設」の指定を受けています。

その博物館法で認められた施設である金沢大学資料館では、3月28日から春季企画展「金大資料館コレクション展2019：保存と修復 第2章」を開催(4ページ参照)しています。ぜひ、御覧ください。



資料館の2代目懸垂幕(上)と  
「金大資料館コレクション展2019：保存と修復 第2章」会場内の様子(右)

## 展示活動報告

学 生  
企 画 展

### 「物録(モノログ)－資料達の波乱万丈な「モノ」ガタリ」開催

会期 平成30年11月16日～平成31年1月29日 会場 資料館展示室

毎年、工夫を凝らした展覧会となりファンも多い博物館実習を受講する学生が企画する平成30年度の展覧会は、「物録(モノログ)－資料達の波乱万丈な「モノ」ガタリ」と題して開催されました。

講義と実習等によって得た知識と経験を生かし学芸員の資格取得を目指す学生が、初めて挑戦する発表会でもあります。

今回は、資料館に収められた資料の生い立ちに焦点を当て、もしかするとそのまま捨てられてしまっていたかもしれない資料がどのような経緯で資料館に収蔵されたのかを資料自らが語り解説するというスタイルの展覧会になりました。

また、これに併せてミュージアムツアーや展示した魔鏡に関するワークショップも開催し、充実した企画展になりました。



魔鏡の作り方の説明を受けるワークショップ参加者

ア ウ ト  
リ ー チ 展

### 「バンカラ寮生類～金大寮史125年」開催

会期 平成31年1月18日～2月17日 会場 石川四高記念文化交流館



平成29年度に開催しました学生企画展「バンカラ寮生類～金大寮史124年」を一部見直し、コンパクトにまとめ、タイトルの一部を「124年」から「125年」に改めてアウトリーチ展を開催しました。

特にOBに好評であったことに加えてテーマが石川四高記念文化交流館の展示趣旨とも合致し、市中において地域の皆様にも御覧いただきたいとの趣旨から、資料館が取り組んでいる地域の文化施設との連携事業として、石川四高記念文化交流館を会場に、四高時代の時習寮等と平成28年度末に閉寮となった金沢大学北浜寮の生活について紹介することができました。

冬 季  
企 画 展

### 「稲作と中国文明」開催

会期 平成31年2月7日～3月17日 会場 資料館展示室



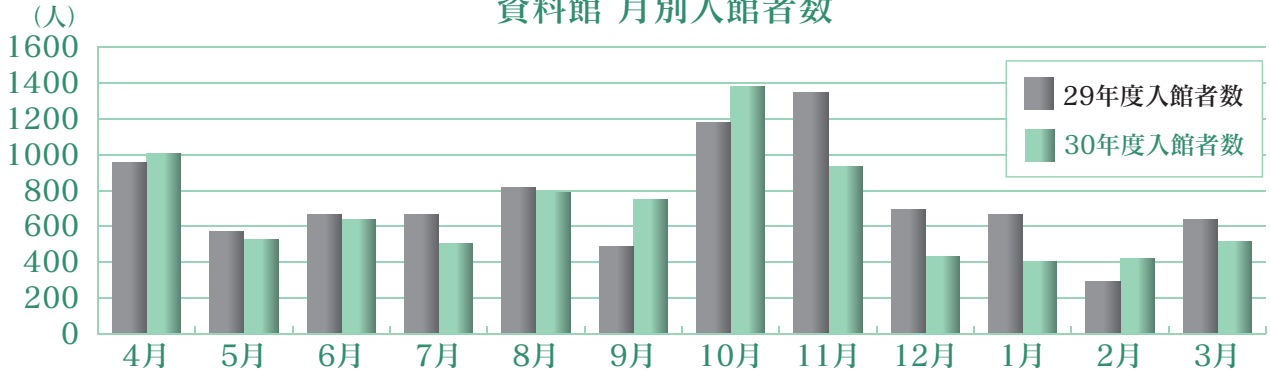
資料館では、科学研究費補助金の新学術領域研究「稲作と中国文明－総合稲作文明学の新構築－」のグループとの連携企画展として、「稲作と中国文明」を開催しました。

この展覧会は、金沢大学の研究者を中心に全国の大学等の様々な分野の研究者が参加する中国における稲作と文明形成の関りを明らかにする研究プロジェクトによって、これまでに明らかになった成果を発表する場として開催されました。

## 平成30年度入館者数

平成30年度の資料館展示室への入館者数は、これまでの過去最高であった平成29年度の記録に残念ながら及びませんでした。過去2番目に入館者数が多かった平成27年度の記録を更新し、8,308人を数えました。

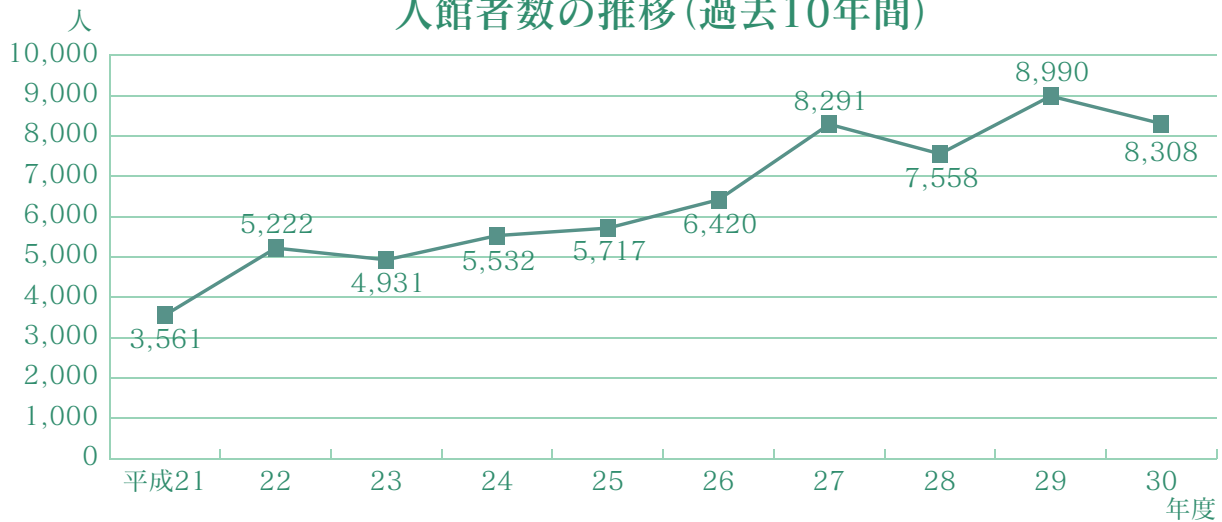
### 資料館 月別入館者数



入館者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	958	570	667	667	818	488	1,182	1,345	697	667	293	638	8,990
平成30年度	1,005	530	637	504	788	752	1,383	932	432	406	422	517	8,308

## 資料館入館者数の推移

### 入館者数の推移(過去10年間)



## アウトリーチ展入場者数

平成30年度 資料館アウトリーチ展入場者数

展覧会名	会場	開催期日	開催日数	入場者数
金沢大学資料館写真展「あのころの金沢大学」	金沢城内河北門	平成30年10月19日 ～11月5日	18日	15,162人
金沢大学資料館企画展 「バンカラ寮生類～金大寮史125年～」	石川四高記念文化交流館 多目的利用室1	平成31年1月18日 ～2月17日	31日	2,603人
アウトリーチ展入場者数 合計				17,765人

## 開催案内

企画展

# 「金大資料館コレクション展2019：保存と修復 第2章」

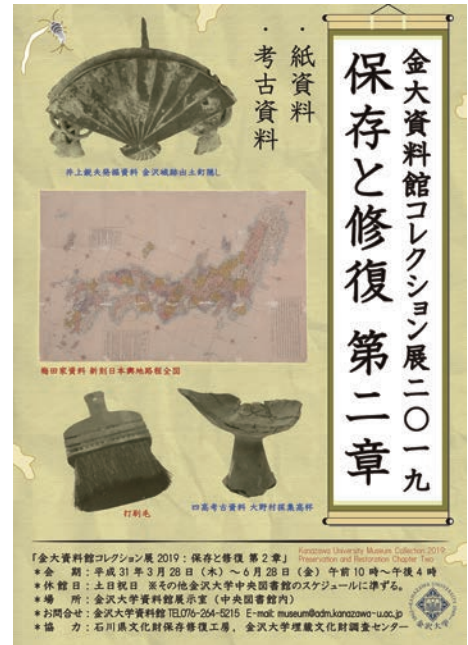
会期 平成31年3月28日～令和元年6月28日 会場 資料館展示室

資料館展示室では、3月28日(木)から6月28日(金)まで金大資料館コレクション展2019「保存と修復 第2章」を開催中です。

昨年度春に開催した「保存と修復」展の続編として、この企画展では日本の和紙、エジプトのパピルス、そして考古遺物の金属製品を取り上げ、各分野の保存と修復の方法について解説しています。

和紙は、千年の耐久性を持つといわれます。その和紙自体が持つしなやかな力を利用して、古くから伝わる文書類がどのように修復されているかをパネル解説と実際に使用されている道具類、そして修復を経た館蔵資料等とおして紹介しています。また、現代に製作されたパピルスの彩色画とパピルスのサンプルを展示すると共に、発掘されたパピルスの修復方法についてもパネル解説を加えています。考古資料では、金大コレクションの中から金沢城跡出土釘隠し等を保存用品と共に展示しています。

資料の良好な保存のために、博物館のバックヤードで繰り返し使われている地道な活動に焦点を当てた展覧会です。皆様のご来場をお待ちしています。



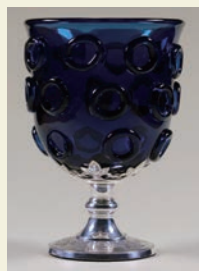
## 平成31年1月～4月 寄贈・移管資料

今期も貴重な資料を移管していただきました。当館にて大切に保存し、活用させていただきます。ここに、改めて感謝申し上げます。

### 移管

- ・正倉院ガラス器複製及び復元品(8点)

地球社会基盤学系



### 編集後記

特任助教の松永です。早いもので着任から3年目に入りましたが、収蔵庫の膨大な資料は見るたびに新たな発見があり、未だに驚かされます。今年は資料館設立30周年にあたりますが、同時に新時代「令和」の始まりの年でもあります。私も、資料館員として、これまでの歴史を継承しながら、さらなる活動展開に努めたいと思います。

(松永篤知)

## 金沢大学資料館だより

第59号 令和元年5月発行



発行/編集 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町  
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050  
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<https://museum.kanazawa-u.ac.jp>